

クラブ員各位

新宮ライフセービングクラブ 代表

平成 27 年度事業計画及び平成 26 年度評価、修正について（通知）

上記標題について別紙のとおり事業計画を作成し、併せて事業結果を評価し、修正方向を示します。クラブ員の皆様においてはこの旨周知し、年間を通して次年度へ繋がる円滑な活動をお願いします。

なお、平成 26 年度から開始した委員会制度を見直し修正し、各委員会を主導として、更なる各計画の達成にご協力をお願いします。

本事業計画は、現時点における計画を立てることにより計画的活動を行う目的で作成する主旨であり、当該年度内の新たな計画・活動を妨げるものではありません。

平成27年度 新宮ライフセービングクラブ 事業計画

基本方針

- ・ 新宮海岸重溺事故の5年連続ゼロ更新
- ・ メンバー倍増による運営安定化
- ・ 増員・システム化・高度化による体制強化
- ・ より広域で多彩な活動

1. パトロール・練習等の環境向上

- ① AEDの購入 ⇒ AED購入(～7月)
- ② ユニットハウス警備本部の導入 ⇒ H27年度夏導入へ向けて調整
- ③ 平日パトロールの増加 ⇒ メンバー・有資格者の増強
- ④ より効果的な練習会 ⇒ 海・プール・陸での練習内容を見直し

2. 活動費・資器材購入費のための資金調達

- ① 新宮町助成金 ⇒ 事業計画書・申請書等の提出、実績報告等の提出(年度末)
- ② 竹製寄付金箱の設置・回収 ⇒ 竹製寄付金箱を50事業所へ設置・翌年1月回収(～1月)
- ③ 事業収入の増大 ⇒ JLA講習会・まつり新宮・ガード依頼等

3. 運営体制の向上

- ① 運営体制の見直し ⇒ 実態に合わせて効果的に配置
- ② 会計見直し ⇒ NPO法人へ向けて検討・準備
- ③ 総会の実施 ⇒ 総会を実施(～3月)
- ④ JLA正会員 ⇒ JLA講習会主催による収支・講習会回数増

4. 人材の確保・育成

- ① 新規メンバーの確保 ⇒ メンバー確保要員の指定・教育
- ② 広報の拡充 ⇒ マスコミ・ポスター・WEBサイト・SNS・TV等による広報
- ③ より広域な活動 ⇒ 関東など他地域での活動へ触れてより広い視野と見解を得る
- ④ JLA資格取得者の拡充 ⇒ 新宮ベーシックの開催(5月)、アドバンス・審判員等の他資格推進
- ⑥ 参加率の向上 ⇒ 新規メンバーフォロー、連絡体制強化、WEBによる情報共有・提供

5. 年間行事計画

- 4月 総会、海練・プール練、会計・監査、新宮町クリーン作戦、新宮町活動助成金申請、アドバンス講習会(新宮)
- 5月 海練・プール練、クラブ内講習会、全日本プール選手権(横浜)、ベーシック講習会(新宮)、ガタリンピック
- 6月 海練・プール練、全日本種目別選手権(愛知県)、虹松トライアスロン警備、九州LS選手権(宮崎)
- 7月 パトロール、顔合わせ、江北町LS講習
- 8月 パトロール
- 9月 海練・プール練、慰労会、パトロール統計
- 10月 海練・プール練、全日本地区予選(?), 全日本LS選手権(神奈川)、CSin 島根
- 11月 海練・プール練、まつり新宮、ママチャリWGP秋
- 12月 プール練、忘年会
- 1月 初詣、プール練、新年会、活動統計、寄付金箱回収
- 2月 プール練
- 3月 海練・プール練、JLA会員更新、決算・予算、ママチャリWGP春

平成27年度 事業における改革・計画

【括弧内は担当委員会】

・ メンバー倍増

当クラブメンバー数を倍増し、今年度内にクラブメンバー数50名程度までの増員を目指す。また、同様に1活動日当りの参加人員も倍増を目指す。そのため近隣大学等へ積極的にアプローチして、学生メンバーを大幅増員するとともに、メンバー知人の勧誘特典を考察することで社会人メンバーも増員を目指す。 【事務局】

・ 指導委員会の設立

H26度設立した教育委員会は当初の目的と成果を達成し得なかったため廃止する。代わりにJLA指導員で構成する指導委員会を立ち上げる。指導委員会の目的は、指導員スキルの向上・指導員間での情報共有・メンバーへの育成指導などである。毎月1回以上の内部勉強会により、より深くより広い知識の習得を目指すとともに指導員のスキル向上を図る。指導委員は、より多くのJLA講習会への参加と、福岡応急手当普及の会や福岡着衣泳会と連携による指導員としてのスキル維持・向上を目指すしていく。 【指導委員会】

・ 資格講習会の増加

これまで夏季シーズンを前に年1回定期開催してきた福岡新宮ベーシック講習会は、新宮海岸パトロールにおいてベーシック保持者標準化の目標を達成しつつあり、今後も新規メンバーの資格標準化のために継続していく必要がある。また、アドバンスや指導員養成、審判員など様々な上位資格取得講習会を新宮へ誘致して、更に上位資格へチャレンジできる環境を作っていく必要がある。

よって、これまでJLA団体一般会員であったが、今年度からはJLA団体正会員へ登録することで、当クラブ主催の様々な資格講習会を開催していく。 【指導委員会・事務局】

・ より深くより広い知識の習得

各資格講習会を斡旋し、より多くの資格を取得することでの知識習得を目指していく。具体的には、消防（応急手当普及員）、AHA（BLS）、日赤（救急法、水安法）、船舶免許（特殊小型）などの他、PWCレスキューなどの講習会情報をメンバーへ斡旋していく。 【指導委員会】

・ 備品購入

パトロールにおける最低限の器材は揃いつつある。しかし、レシーバーやアクアパックなど経年劣化における更新は、当然に継続購入が必要である。加えて、AEDやAEDトレーナー、CPRトレーニング人形など新規に必要な器材も多い。また、将来的にはPWCやATV、PFD、ニッパーボードなどの整備も重要であり、これに備えての貯蓄も増やしていく。 【事務局】

・ ユニットハウス設置

従来、夏期パトロール時にはテントを無償貸与で設置していたが、書類記載やFirstAid、器材管理、器材搬送など、労力や風雨、飛砂によって多くの活動支障があった。現在新宮町と交渉中であるが、早期のユニットハウス設置を目指し、より高度で安定的なパトロールを目指していく。 【パトロール委員会】

・ 競技力の維持向上

H27年度は、これまでの競技主力メンバーが就職に伴って大きく一時的に流出する。よって、1年間に限定して競技委員会京都分室を置き、そこで競技会エントリー事務や競技力維持を図る。福岡に残留する競技委員は、更なる競技力強化へ向けて新メンバーの発掘や勧誘、技術力向上に努める。競技はライフセーバーのスキル向上のための必須項目と捉え、できる限り全メンバーでの競技出場を目指すしていく。 【競技委員会】

・ 活動範囲の拡張

当クラブの活動目的は新宮海岸パトロールであるが、新宮海岸での更なる広域パトロールやビーチクリーン、ジュニアなど、新宮海岸でのより多岐に渡るライフセービング活動へチャレンジしていく。また、パトロール海水浴場の拡大、県消防学校カリキュラム、大会等警備活動の増加など、より広い活動展開への道を模索・開拓する。 【パトロール委員会・指導委員会・事務局】

・ より広い視野へ

単に新宮・福岡・九州に留まっても、優秀なライフセーバー育成は現段階では難しい。よって、パトロールや競技、学生室、イベントなどに絡めて、関東などの他地域へ、より多くの当クラブメンバーへ参加斡旋し、更には海外への派遣も目指していく。 【事務局】

・ 地域との協働

地域の事業者などと連携し、新宮海岸周辺に「人が集まる拠点」の創設を目指す。そのための地盤作りや方向性、方策などを検討していく。 【レクリエーション委員会】

・ JLA イベント誘致

昨年は JLA 事業であるクラブマネージャーミーティングやレスキューミーティング(2回)、サーフトレーニングクリニック(2回)など、様々な JLA イベントを新宮へ誘致した。JLA の現状を福岡・新宮で知れるメリットは大きい。よって、この流れを絶やすことなく継続・拡大して誘致していくことが望まれる。 【指導委員会】

・ 連絡体制の強化

現在、WEB サイト・TEL・メール・SMS・ML・LINE・Facebook・ChatWork・独自システムなど内部連絡体制は多岐に渡るが、統一的に全メンバーへ周知・機能しているツールはない。また、外部へは WEB サイト・Facebook・Twitter・BLOG・Youtube などがある。更なるツールを開拓し、より早く、統一的に全メンバーへ情報共有を行い、より広く外部へ広報していくことが大切である。しかし、使用頻度が低いツールや薄い効果のツールは精査していく。 【事務局】

・ クラブ内の交流

現在、月1飲み会などにより定期的な交流を図っているが、参加メンバーの固定化が見られる。月1飲み会は効果的であって継続していく必要性はあるが、その他のイベントを更に企画し、より多くのメンバーが参加してもらえるようなクラブ内交流が図れるイベントを立案していく必要がある。 【レクリエーション委員会】

・ 各委員会の発展

H26年度から委員会制度を導入し、一定の効果は見られる。しかし、まだ自発的な企画や活動は乏しいのが現状であり、各委員会が企画・立案し、それを議論して、実動できる体制が望まれる。よって、毎月開催している委員長会議のあり方を刷新し、積極的な各委員会を目指していく。 【事務局】

・ 本部事務所の設立

代表田原宅内(糟屋郡須恵町)に新たに本部事務所を置く。目的は、事務機能の拠点・資料等適正管理・情報共有などである。事務拠点ができることで、事務の効率化と拡大を目指す。 【事務局】

・ 収入増大

H26年寄付金箱事業は一定の増収があり、H27年も更に拡大して当該事業を継続している。また、今年度からの JLA 講習会主催による増収は、受講者数に依存していることから、講習会受講者を従来以上に増やす必要がある。外部講師依頼や外部大会警備などの謝礼金についても増強させ、運営体制の更なる安定化に努めていく。 【事務局】

・ NPO 法人化

助成金や事業収入の受け皿と動産・不動産などの契約・所有に向けて、法人化の準備を進める。まずは情報と知識の習得から具体的に進める。 【事務局】

・ 新サイトの構築

誰もが編集・追加・削除できる全国ライフセービングクラブの情報サイトを構築し、全国 LS へ発信する。これにより、全国の LSC 情報を手軽に情報収集でき、全国 LSC との繋がりを持つ一助を目指す。 【事務局】